

# Tachyon

[タキオン]



なかにし礼氏によって作詩された公立小松大学校歌のタイトルは「光より速きわれら」。ときに光速をも超える思念やインスピレーションが本学学生・職員の spirit から発せられるよう念願し、本誌のタイトルとして選んだのが「タキオン」(Tachyon)である。Tachyonは、未だ確認されていない粒子であるが、光より速い速度をもつとされ、ギリシャ語の「ταχιος(速い)」を語源とする。

学長 山本 博

(図出典：Institut for teoretisk Fysik)

## We Enjoy Campus Life

軽音サークル  
(紹介は、裏表紙)

※大学HPでは、広報室学生委員によるサークル突撃取材の記事を公開しています。



## 01 地域で活躍する公立小松大生

03 大学TOPICS

05 第7回大学祭「青松祭」

06 教員紹介 望月 葵 国際文化交流学科講師

07 サークルPick Up、各種学生支援

vol.14  
2025.03

2025年2月～9月

主な大学スケジュール

2月17日(月)～4月7日(月)

春季休業

3月23日(日) 10時～

学位記授与式  
@石川県小松市團十郎芸術劇場うらら

4月2日(水) 10時～

入学宣誓式  
@石川県小松市團十郎芸術劇場うらら

4月3日(木)・4日(金)

新入生オリエンテーション

4月8日(火)

前期授業開始  
※履修登録は4月21日(月)まで

7月19日(土)

オープンキャンパス

7月28日(月)～8月6日(水)

前期試験(補講・試験予備日含む)

8月7日(木)～9月26日(金)

夏季休業

9月29日(月)

後期授業開始  
※履修登録は10月10日(金)まで



## サークルPick Up 軽音サークル

広報室学生委員が軽音サークルを突撃取材！サークル長(当時)の林優菜さん(臨床工学科)と副サークル長(当時)の谷野美怜さん(国際文化交流学科)に話を聞きました。

どんな活動をしていますか？

(林さん) 軽音サークルでは定期的にライブをしています。新入生歓迎会や青松祭、ライブハウスや大学の近くにある石川県小松市團十郎芸術劇場うららで演奏しています。最近外部団体から依頼があり、イベントで演奏することもあります。

普段、どんな曲を演奏していますか？

(林さん・谷野さん) サークルではいろいろな曲を演奏しています。好きなバンドのカバーやJ・POPが多いです。

軽音サークルに入ってから良かったことを教えてください。

(林さん) 自分が大学に入って1番良い選択をしたなと思うのがこのサークルに入ったことです。先輩も後輩もあたたかい人ばかりですし、ライブ以外にもみんなでBBQなどをすることもあり、楽しいです。サークルに入らないと関われないような人たちと仲良くなってコミュニケーションが広がりました！

(谷野さん) 軽音サークルに入ってから、周りにこんなにも音楽好きがいたんだ！と知れて嬉しかったです。

今後の目標を教えてください。

(谷野さん) 最近、他の大学との合同ライブなど、外部の人と関わる機会が多くなってきたので、サークルでの活動をSNSで発信して、もっと活動できる機会を増やしていきたいです！

## 各種学生支援

### 学生相談

学生生活での悩み事がある方、一人で悩まず学生相談を利用してみませんか。専門のカウンセラーが話を聞き、皆さんと一緒に解決の方向性を考えていきます。まずはお気軽に保健管理センターにご連絡ください。秘密は厳守します。

○例えばこんな時・・・

- ・友人や家族との関係で悩んでいる
- ・自分の性格が好きになれない
- ・集中できない、学習が手につかない、上手くいかない
- ・将来のことで悩んでいる
- ・何もやる気がしない
- ・その他、カウンセラーに相談したい悩み事や困り事

○専門のカウンセラーに相談したいときは・・・相談は予約制です。希望される方はあらかじめ保健管理センターへ来室するか、電話・メールで申し込み、相談日を決めてください。

○相談日・時間

月～木【原則】13時～18時

○申込先

キャンパス	中央	粟津	末広
電話	0761-48-3255	0761-48-3115	0761-48-3160
メール	health@komatsu-u.ac.jp (3キャンパス共通)		

担当：保健管理センター

### 日本学生支援機構(JASSO)の奨学金

経済的理由で修学が困難な優れた学生に学資の貸与を行い、また、経済・社会情勢等を踏まえ、学生が安心して学べるよう、「給付」または「貸与」する制度です。給付奨学金の支援額については、国の施策「高等教育の修学支援新制度」に基づき定められています。詳しくはJASSOホームページをご覧ください。なお、令和7年度から多子世帯の授業料無償化が始まります。詳細については、4月上旬に開催する説明会にて説明しますので、ご参加ください。担当：学生課

# 地域で活躍する公立小松大生

アートやパフォーマンスの力で地域を応援

## フラワーアートを作成 小松活性化サークル

4月30日(火)～5月2日(木)の3日間にわたり、小松市役所 緑花公園課と協働し、中央キャンパス前の広場に大きなフラワーアートを制作しました。



小松のまちを盛り上げる活動にこれからも精一杯取り組んでいきます。

## 北陸新幹線を表現した3Dモデル等を展覧 ものづくりサークル

6月22日(土)と23日(日)、金沢駅もてなしドーム地下広場で行われた作品展「INT金沢」に北陸新幹線と金沢駅を表現した3Dモデル等を展覧しました。



展示作品  
「北陸新幹線を表現した3Dモデル」

ものづくりに関心がある団体が作品を展覧し、相互に作品を鑑賞することで、ものづくりのバリエーションに幅広く触れる機会となりました。

## 福祉のイベントで演奏を披露 軽音サークル

10月27日(日)、こまつドームで行われた福祉ふれあいフェスティバルのステージでバンドの演奏2曲を披露しました。



地域の方にステージの披露ができ、良い経験になりました。また、手拍子など、地域の方の温かい雰囲気にも包まれたステージで、嬉しかったです。

## ピュア涌泉寺の露天風呂に壁画を描く ボランティアサークル×アントレプレナーサークル

5月25日(土)、金沢星稜大学美術部と協働でピュア涌泉寺(小松市中海町)の露天風呂に壁画を描きました。



地元の方など、より多くのお客さんに見に来てもらいたいという気持ちで作成しました。完成時には達成感があり、地域に貢献できたと感じ、嬉しかったです。

## 障害者支援施設でダンスを披露 ダンスサークル

10月12日(土)、社会福祉法人アカンヤの里のイベントでダンスを披露しました。



普段踊らないようなジャンルや年代の曲を踊りました。一緒に踊ったり、曲に合わせて手拍子を打ったりと温かく迎え入れていただきました。

## 老人クラブのイベントで合唱を披露 うたおう会

11月2日(土)、第一地区老人クラブ連合会の交流会で合唱3曲を披露し、伸びやかな声をホールに響かせました。



来場された150名の方々は感激した様子で、歌に聞き入ってくださいました。

地域と世界で活躍するグローバル人材を育成する公立小松大学は、地域での活動が盛んです。令和6年度に行った活動をピックアップしてご紹介します。

地域の方とともに活動

## 小松市上麦口町での週末ワークキャンプと社会体育大会 ボランティアサークル

5月25日(土)、上麦口町にて週末ワークキャンプを実施し、地域の方と協力して芝桜やサツマイモの苗の植込み等を行いました。また、6月2日(日)には同地域で行われた社会体育大会に参加しました。



週末ワークキャンプ



社会体育大会

令和3年から上麦口町との交流を始め、令和4年の大雨災害の際は土砂の撤去作業等のボランティアを行いました。週末ワークキャンプと社会体育大会に毎年参加させていただいています。今回も、畑の耕しなど普段できないような体験を通して地域の方と交流し、良い経験になりました。

## KOMATSU 全日本鉄人レースとこまつ勸進帳マラソンでのボランティア ボランティアサークル

9月29日(日)にKOMATSU 全日本鉄人レース、10月14日(月)にこまつ勸進帳マラソンで参加者誘導等のボランティアを行いました。



選手の皆さんの熱気を感じて楽しみながらも、皆さんが万全な状態でレースができるよう、スタッフとしてしっかりサポートすることができ、やりがいを感じました。

地域に献血を広める

## クリスマス献血キャンペーンの運営 献血推進サークル こまけん

12月7日(土)と8日(日)、石川県学生献血推進委員会によるクリスマス献血キャンペーンの運営に携わりました。7日の事前準備では、石川県赤十字血液センターで案内看板の制作等を行い、8日のイベント当日は、アピタ松任店にて献血の呼びかけを行いました。



一般の方々に献血の大切さを伝えるチャンスになったと同時に、献血に協力してもらうことの難しさを感じ、次の活動での工夫を考える良いきっかけとなりました。

自分たちができることを能登に

## 能登半島地震・奥能登豪雨 災害ボランティア

看護学科1年 山田 結芽さん、  
国際文化交流学科1年 高いおりさん、  
生産システム科学科4年 水口 輝哉さん

10月27日(日)、輪島マリンタウンにて、お弁当の振る舞いボランティアを行いました。



以前にボランティアに伺ったときよりも活気が溢れており、小松から元気を届けようとした私たちが元気づけられました。ただ、依然として様々な箇所には震災の爪痕が残っていたので、継続してボランティアを行いたいです。

生産システム科学科3年 市川 拓真さん、加藤 飛天さん、宮崎 寛汰さん

11月24日(日)、輪島市の民家の側溝の泥除去を行いました。



フットサルをして日頃から体を動かしていますが、それでも想像以上に大変な作業でした。私たちの活動で少しでも震災地域が復興して、笑顔になってほしいという思いで参加しました。

茶道や将棋の良さを地域の方に伝える

## お茶会の運営サポート 茶道サークル

6月1日(土)、小松市八日市町で行われたイベント「八日市歌舞伎マーケット」のお茶会の運営サポートを行い、お点前を披露しました。



地域の方に合わせたお茶会は初めてだったので、新鮮な気持ちでお手前をすることができました。幅広い年齢層の方々に楽しんでいただけて良かったです。

## 囲碁将棋教室の運営サポート 将棋サークル

10月6日、13日、20日(いずれも日曜日)、小松市民センターと小松第一地区コミュニティセンターで行われたイベント「子供たいけんひろばinこまつ」で囲碁将棋教室の運営サポートを行い、駒の動かし方を小学生に教えました。



将棋を習わせたいが、なかなか教室が無いという保護者の話を聞いて力になりたいと思い、囲碁将棋教室の運営サポートを行いました。

# 公立小松大学 TOPICS 大学

2024年8月～2025年2月

## 輝く公立小松大生

**第1回アジア太平洋トレイルランニング選手権**  
ロングトレイル女子の団体部門で優勝、個人部門で第5位  
**2024スカイランニング世界選手権**  
SKY部門で第11位  
枝元 香菜子さん  
(大学院ヘルスケアシステム科学専攻博士後期課程1年)



**江蘇杯中国語スピーチコンテスト**  
(中部東海地区大会)で第1位  
**第42回全日本中国語スピーチコンテスト**  
スピーチ大学生部門で第2位  
小林 美月さん(国際文化交流学科4年)



**第42回全日本中国語スピーチコンテスト石川県大会**  
第2位と第3位にそれぞれ入賞  
第2位  
西山 侑位さん(国際文化交流学科3年)  
第3位  
米田 好花さん(国際文化交流学科3年)  
写真は西山 侑位さん



**小松市国際交流協会主催の**  
**日本語スピーチコンテスト**で第1位  
「日本語の曖昧表現と中国語の比」で発表  
仲 静雯さん  
(中国・常州大学より交換留学中)



**全国障害者スポーツ大会**  
**SAGA2024の水泳部門2種目**  
でそれぞれ銀メダル、銅メダルを  
獲得  
野杉 圭太さん(総務課職員)  
左から2番目が野杉 圭太さん



**応急手当技能競技会**  
個人の部で最優秀賞  
中田 響月さん(看護学科3年)



## ★ トウンク・アブドゥル・ラーマン大学 (マレーシア) の学生が本学のスタディツアーに参加

10/15 (水)

10月15日から10月21日の期間、マレーシアのトウンク・アブドゥル・ラーマン大学(以下UTAR)から学生8名、教員1名が本学に滞在し、国際交流センターが主催するスタディツアーに参加しました。UTARとは2019年に大学間交流協定を締結後、交換留学生の派遣やオンラインによる学生交流会、webセミナー、そして今回のような短期間でのスタディツアーを実施し、活発に交流を重ねています。UTARの学生たちは、午前中は本学の教員による日本語の授業の他、南加賀地域の産業や日本とマレーシアの儀式の比較に関する授業などを受講し、午後からは小松市等の文化施設を訪れたり、日本文化体験を行ったりしました。週末には大学祭も楽しみました。



## ★ 令和6年度産官学合同シリコンバレー研修を実施

8/25 (日)

アメリカ合衆国カリフォルニア州のシリコンバレーに、学生と地域企業の社会人を派遣する「産官学合同シリコンバレー研修」を7日間のプログラムで開催し、学生15名と社会人4名の計19名が参加しました。研修では、現地在住の日本人エンジニアや起業家などによる特別講義やディスカッション、AppleやGoogleなどのシリコンバレーを代表するテック企業への訪問など、シリコンバレーでしか経験できない多くのプログラムを実施しました。また、本研修の目的のひとつである企業・行政等が抱える課題の解決策の探求では、スタンフォード大学やサンフランシスコベイエリアを訪れてのインタビューやアンケート調査、シリコンバレーで働く企業人との意見交換を行い、日本と異なる価値観や考え方をすることで解決の糸口を探りました。研修最終日には、研修を通しての気づきや学びを参加者全員で共有しました。参加者一人ひとりが自身の成長や何事も proactive (積極的な、前向きな) に行動する心構えを実感し、密度のある有意義な研修となりました。



## ★ 市民公開フォーラムを開催

11/23 (土)

中央キャンパスで市民公開フォーラムを開催し、市民や学生・教職員など約100人が参加しました。今回は、「地球環境と社会のサステナビリティー公立小松大学のチャレンジ」をテーマに、総合地球環境学研究所 副所長の谷口 真人氏、金沢大学環日本海環境研究センター センター長の長尾 誠也氏、公立小松大学 山本 博学長の3名の講師による講演が行われました。フォーラムのテーマに基づいた各講師の専門的な視点による3つの講演に対し、会場では参加者がそれぞれに関心を寄せ、熱心に耳を傾ける様子がかがえました。

## 公立小松大学協力が会が発足

公立小松大学と産業界との交流を推進し、相互理解を深めることにより、地域社会の課題解決と人材育成に資することを目的に、「公立小松大学協力会」(会長：西 正次 小松商工会議所会頭)が発足しました。令和6年11月に行われた設立総会等の様子をお伝えします。

### 【設立総会】



石田 寛人 公立小松大学理事長 挨拶



西 正次会長が議長となり、協力会の設立経緯等をご説明

### 【設立記念キックオフシンポジウム】

「産官学連携の新たな展開に向けて」をテーマに公立小松大学協力会 監事に就任した鈴木 康夫 様(株式会社 Bizits パートナース代表取締役会長)と保健医療学部臨床工学科 学科長の山岡 哲二教授が講演を行いました。



鈴木 康夫様 ご講演

**会員募集中** 協力会会員数：148者(2月17日現在)

公立小松大学協力会は随時会員を募集しています。右記のQRコードからお申込みください。



## ★ 末広キャンパスにアートポスター「SHIKI」を飾る

12/25 (水)

末広キャンパスに手描き友禅のアートポスター「SHIKI」が飾られました。アートポスターには、四季をテーマにした伝統のモチーフを背景に、モダンな春夏秋冬の四文字が配されています。山本学長は「末広キャンパスは病者に寄り添う医療人を育成する。心和むアートの力も感じてもらいたい。」と語りました。



## ★ どんどんまつり あんどん行列に参加

10/12 (土)

国際交流センター公認サークルである KOMAFriend が中心となり、留学生を含む学生・教職員20名が小松市どんどんまつりのあんどん行列に参加しました。学生たちは大学オリジナルのはっぴ姿で、様々な言語で交流を楽しみながら力を合わせてあんどんを曳き、芦城公園から小松駅前まで練り歩きました。小松駅前市民公園で行われたPRタイムでは、KOMAFriend の紹介と大学祭の宣伝を行い、最後は参加した団体全体でどんどん輪廻りを踊り、熱く盛り上がりました。



# 教員紹介

KOMATSU UNIVERSITY



もちつき あおい 望月葵 講師  
(国際文化交流学科)

*Soei Mochizuki*

## 中東地域の難民問題と向き合う

私の研究テーマは、中東地域の難民問題です。特に2011年以降、内戦によって故郷を追われたシリア難民の人々が、どのように生存基盤を再構築しているのかについて研究をしています。シリアの人々は、「シリア人である」ことのほかに「ムスリム(イスラム教徒)」、「アラブ人」といった複合的な帰属意識を持ちながら暮らしています。私の研究では、そうした様々な帰属をシリア難民が生存戦略として活用することで、彼らの生

活に必要な支援を引き出し、一方で提供している一連の動態について、中東と欧州でのフィールドワークを通して考察していきます。

## 研究者を志したきっかけ

幼少期からずっと、戦争や差別、社会の不平等に関心がありました。そこには沢山のきっかけがありました。9.11同時多発テロ事件とイラク戦争の勃発に対する衝撃が出発点かもしれません。実務家として平和構築に携わりたい思いがありました。

が、自分の中でしっくりこない点があり進路に悩んでいた時期がありました。そのころ、手に取った学術書が、私が転勤族の子どものとて長らく抱えてきた「寄る辺のなさ」を見事に言語化しており、「学問は、こういうかたちで人の役に立つことができるとのか」と感銘を受け、研究の道を志しました。

## 大学で教える中東

大学では中東政治論やイスラム社会論などの講義を担当しています。学生にとってはあまり馴染みのない地域だと思っので、少しでも興味を持ってもらいたい!と思い、講義では積極的に現地の写真や動画、グッズを紹介して中東の人々の暮らしを伝えられるように心がけています。また、講義やゼミを通じて、学生の発言から研究のヒントをもらうこともあります。大学がもっと気軽なアカデミックサロンのようになって嬉し



イスラームの金曜礼拝



ヨルダンの街並み

## 学生へのエール

盗むならばラクダを、愛するならば月(のように美しい人)を」というアラブのことわざがあります。「何かをするときは、全力でやれ」という意味です。「将来の夢やキャリア」を考えると心が迷子になってしまうこともあるかと思いますが、悩めるときに全力で悩んだ方が良いでしょう。それは無駄な遠回りではないと

**私の休日**

文庫を読むばかりでは五感が縮まってしまいますので、伸びをするために、美術館に行ったり、散歩したり、料理したり、気まぐれに過ごしています。



## ステージ

吹奏楽部やダンスサークル、軽音サークルがステージを盛り上げました。



今年のスペシャルゲスト、ラバーガールといかちゃんのお笑いライブで大盛り上がり!会場中が笑顔になりました。



## 学科紹介・学術企画

パネルや展示品、体験を通じて、各学科の特徴や魅力を紹介しました。



今年の企画のテーマである「原動力」についてワークショップを行いました。

# 第7回 青松祭

2024年10月19日(土)20日(日)  
中央キャンパス、小松市民公園

今年のテーマは「萌え燃え emotion ~あげてこテンションこの物語はノンフィクション~」。大学祭に萌えて、燃えて、全員が楽しみ、ワクワクした気持ちからご来場した方々の思い出に残る大学祭を創り上げたいという思いが込められています。当日は雨や風に見舞われる時間帯もありましたが、多くの方々にご来場いただき、大いに盛り上がりました。5年ぶり2日間開催の公立小松大学祭「青松祭」の様子を紹介します!

## キャンパス内催し物



キャンパス内では縁日や脱出ゲーム、各サークルの催し物などが行われ、たくさんの方でにぎわっていました。



## 模擬店

今年は全15店舗が出店。様々な食べ物やドリンクを販売し、来場者の心とお腹を満たしました。

## 同窓会総会



19日(土)に「令和6年度公立小松大学同窓会総会」が開催されました。会員から今後参加したいイベント案が上がるなど、活発な話し合いが行われ、今後の同窓会活動の発展に向けた良い機会となりました。総会に参加した同窓生には模擬店チケットが配布され、総会後には青松祭を楽しみました。



## 青松祭実行委員会

青松祭を盛り上げたいという思いから、5年ぶりに2日間の大学祭を開催することを決めました。広告協賛にご協力いただいた皆様、当日足を運んでくださった皆様、たくさんの方々のおかげで素晴らしい大学祭となりました。心より感謝いたします。